

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------------------|-----|---------------|
| ○事業所名 | 総合発達支援プラザふらっぷ3号館 放課後等デイサービス | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 1月 18日 | | ～ 2025年 2月 7日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 12名 | (回答者数) 11名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 1月 23日 | | ～ 2025年 2月 7日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5名 | (回答者数) 5名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 2月 22日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 保護者、スタッフの意向を踏まえた個別支援計画策定と見直しの流れ | <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に向けて、スタッフ間でお子様の発達状況を確認している。 ・保護者と面談を行い、お子様の家庭での様子や支援環境、ニーズの確認を行い、計画書に盛り込むようにしている。 ・3カ月毎にスタッフ間でモニタリングを行い、支援内容や目標の見直しを行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントにおいて、お子様の発達状況を客観的に評価する方法を導入する。 |
| 2 | お子様の状態について保護者との共通理解を図ること、ご家族の相談への対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や面談の際に、事業所での様子を伝えるだけでなく、ご家庭での様子も伺い、対応策などを一緒に考え伝えている。 また、必要に応じて小児科Drやリハビリ、栄養科等に情報を伝え、アドバイスを頂いている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子等が保護者により伝わりやすくなるような手立てを考え実行する。 ・保護者が知りたい情報等を掲示板などに掲示していく。 |
| 3 | 保護者間の連携づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと参加する行事や保護者交流会等を行い、保護者同士、子ども同士の関わりが持てる場を年1回ずつ行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に交流会を行っていき、放課後等デイサービスと児童発達支援の保護者の繋がりを強化していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 地域交流とセンターとのつながり | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもクラブ等地域の子ども達とのつながりを持つためのシステムができていない。 ・感染予防として、交流に対して積極的な要望が今の所聞かれていない。また、施設の感染予防対策として、地域の人を施設に招けない状況にある。 ・様々な専門職がいるため、センターからのスーパーバイズよりも自分たちで対応を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもたちとつながりを持つためのシステム作りを行う。また、地域の子ども達と触れ合うことが子どもの発達を促進することの実験ができるよう支援する。 ・地域の方が施設に足を運んでもらえるような機会を作る。 ・自分たちの支援をセンター等の第三者の方から評価して頂く機会を作り、他の視点も取り入れるようにしていく。 |
| 2 | 支援環境と職員配置 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが活動する部屋が1室のみとなっており、仕切りを置く等部屋の中を分けようとする、バギー等が通りにくくなる、仕切りが倒れた際に横になっているお子様が怪我をする可能性がある等、難しさがある。 ・利用しているお子さんそれぞれの成長に伴った他事業所への移行ができていない。 ・放課後等デイサービスの利用児数の増加と利用児の心身の成長に伴った介護度の増加。 | <ul style="list-style-type: none"> ・共有スペース（ホール）等を活用し、部屋を分ける等、安全な環境作りを工夫する。 ・他事業所への移行について再度話し合いを行い、移行の流れ、医療的ケアのフォローの体制等を作っていく。 ・パートや兼務の職員等、放課後等デイサービスの運営時の職員配置の見直しを行っていく。その上で、保護者からのニーズの「高校生の送迎やタイムケア」等も検討していく。 |
| 3 | 保護者に対する支援プログラムや安全計画の周知 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子をフォトフレームで流しているが、送迎時だと保護者がゆっくり見る時間が持たない。 ・支援プログラムや安全計画について、ホームページに掲載したり施設の玄関等置いたりしていたが、手に取って見ていく方が少なかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・フォトフレーム以外の活動の様子等が保護者により伝わりやすくなるような手立てを考え実行する。 ・支援プログラムや各種マニュアル等を年に1回ケアエールで周知を行っていく。 |